

テーマ

地域産業を担う人材の確保・育成

組合による職人の確保育成と川連漆器産地の活性化

秋田県漆器工業協同組合

漆器産地の現状と課題を十分に把握した組合役員と事務局が連携を取りながら、次世代を担う小中学生等や地域を巻き込んだ活動を展開している。

事業・活動の内容

昭和52年からは当組合が中心となり、本格的な後継者育成事業がスタートし、行政や関係機関からの熱い支援体制の下で人材育成に取り組んできた。

背景と目的

川連漆器は約800年の歴史を持ち、食器を中心とした実用的な需要に支えられ、明治29年に原木の共同購入を目的とした組合が設立されると、産地組合として発展を続けてきた。

産業の近代化とともに職人を目指す若者が減少し、漆器職人の確保が大きな課題となったことから、昭和51年に国の伝統的工芸品に指定されたことを契機に、職人の確保・育成や産地の活性化に向けた取り組みが始まった。

商品開発等の効果も始めている。こうした伝統産業を担う人材の確保・育成により、ユニバーサルデザインを取り入れた高齢者向け食器「たなごころ」シリーズの開発や新たな需要の開拓に向けた取組み等に結びついている。また、今後海外展開も視野に、日本語・仏語・英語による共通パンフレット作製や伝統工芸のストーリー性を映像化することも検討している。

成果・効果

組合を中心に伝統工芸士や地域が連携して人材育成に取り組んだ結果、技術伝承や職人の安定確保が図られ、地域の将来を担う子供たちも地場産業に対する理解を深めている。さらに、漆器を使った競技用メダルやユニバーサルデザインの海外展開等新たな可能性を追求することで成果を上げている。



▲高齢者向け漆器「たなごころ」シリーズ

秋田県漆器工業組合

住所：〒012-0105
秋田県湯沢市川連町字大館中野
142番地1
設立：昭和25年2月
出資金：4,400千円
電話：0183-42-2410
URL：<http://www.kawatsura.or.jp/kumiai01.htm>
業種：漆器製造・販売業
組合員：110人